

平成28年度事業報告に関する件

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

全 体 概 要

I 概 要

平成28年度は、文化庁の京都移転が決定し、東京オリンピック・パラリンピックの京都文化カプロジェクトが活動を始めるなど、これまでも増して文化に焦点が当たった年度となった。

加えて、文化の観光面への、より一層の活用を政府が推進するなど、文化と観光の双方を所管する本法人にとって、大きな好機が到来したといっても過言ではない。

こうした中、観光面においてはMICE、特に国際会議の京都での開催が続伸し、過去最高を記録した。

インバウンドにおいても、欧米、アジアとも極めて好調で、ますます外国人を抜きにして、京都観光は語れない状況となってきている。

そして、文化面においても、ポスト琳派400年記念祭を見据えた、2020年を目標年次とする様々な企画を、文化庁地域文化創生本部や、京都文化カプロジェクトと連携して推進するべく、鋭意取り組みを開始した。

また、平成28年7月からは、京都迎賓館において通年での一般公開が開始されたことに合わせ、来館者の満足度向上に資するために、京都迎賓館で記念グッズの販売を本格的に始めたところである。

販売を行っているノベルティは書籍以外、全て本法人が企画から製作委託まで行っているオリジナル商品となっており、そうした希少性の面からも販売は、順調に推移している。

更に、新たに受託した「お茶の京都」宇治茶プレミアムブランド化事業に取り組み、平成28年11月に世界に大きな影響力を持つパリでプロモーションを実施し、大きな反響を得たところである。

あわせて、宇治茶の歴史・文化、ブランドを一目で感じ取ることができるブランドブックやロゴマーク等の制作に取り組んできている。

以下が平成28年度の重点施策別の取組状況の結果である。

Ⅱ 5つの重点施策別の取組状況

1 プレゼンスアップ

プレゼンスアップの取組も5年目を迎え、開始当初の平成24年度には、メディアに取り上げられることも難しかったため、果敢にチャンレンジを行ってきたが、昨年度には、本法人の広報発表ではない案件であっても、メディア側から本法人にコメントを求められ、それが記事化されるということが顕著に増加してきた。

これは本法人についての社会的な認知度が、相当程度上昇してきた証左であると考えている。

また、賛助会員数も平成28年度末で、過去最高となる398法人、629口となり、取組前の平成23年度末と比較すると、会員数で154法人、口数で273口の増加となった。金額では平成23年度と比較して、年額で1,365万円の増加となっている。

2 MICE戦略の推進

平成28年における国際会議の京都での開催件数は、対前年比大幅に増加し、過去最高となる280件となった。

本法人が誕生した当時は年間150件前後であり、この10年間で100件以上の大幅な伸びを示したことになる。

特に平成25年度からは、観光庁から「グローバルMICE戦略都市」として指定され、様々な指導を受けるとともに、京都市からの助成金の大幅な増加などを基盤としつつ、新たな京都府助成金制度の誕生、そして京都商工会議所との連携など、オール京都で着実にMICE戦略の拡充に努めてきた成果が表れてきたと考えている。

加えて、MICEは都市格の向上や経済効果など多種多様な開催効果を持っており、中でも平成28年度には主催団体等に対して、コンgresバッグ等の関連グッズに、京都の優れた伝統工芸品の活用を強く働きかけ、その販売額を大きく伸ばした。

そして、イタリアの高級自動車メーカーであるフェラーリの大型企画の京都誘致に成功するなど、MICE案件についてもこれまでにない新たな成果も生まれてきている。

また、平成28年11月には、国立京都国際会館の2500人規模の新ホールが着工され、平成30年度完成に向けて整備が進んでおり、更に増築などでの大規模化の早期完成に向けて、オール京都体制の下で支援していきたい。

3 インバウンド・プロジェクトの推進

平成28年の訪日外客数は前年比21.8%増の、2,403万人と過去最高となった。国別においては中国が前年比27.6%増の637万人と、平成27年に引き続き、最大の訪日市場となった。

京都においても昨年、本法人が実施する外国人宿泊状況調査で、宿泊者数に占める外国人客の利用割合が37.0%と年間数値として過去最高を記録した。国別においても、日本政府観光局の調べと同様に、京都においても中国が前年を1.6%上回る21.9%を占め、初めてトップとなった。

しかし、エリア別で見ると、欧米客の割合は日本全体で12.6%であるのに対し、京都では約2.7倍の33.4%を占めるなど、全国的にも突出した傾向を示し、欧米客からの高い人気は健在である。

日本政府観光局はビザの緩和に加え、訪日プロモーションや免税制度の拡充等を、主な増加要因と分析しているが、これまで京都は観光立国の先導役としての重要な役割を果たしてきたといえる。

具体的には、ラグジュアリー層への働きかけや、国内でもいち早く取り組みを始めたムスリムへの対応、そして免税店化への支援やクレジットカードでの決済環境の拡充など、平成28年度も積極的に活動を行った。

4 京都迎賓館への支援

京都迎賓館は日本の歴史、文化を象徴する京都で、海外からの賓客をお迎えし、日本への理解と友好を深めていただくことを目的に、赤坂に次ぐ2つ目の施設として平成17年に完成し、これまで、本法人は京都迎賓館を支援する地元の中核組織として、国公賓の接遇やシンポジウムの開催などに取り組んできた。

こうした中、国においては、観光立国実現のシンボリックな取組として、平成28年7月から迎賓館の通年公開を開始し、本法人としても事業の周知に協力するとともに、来館者を対象とした迎賓館記念グッズの販売を始めたところである。施設の特徴から接遇等で、休館となることが多いが、7月からの総販売額は3,500万円を超えた。

記念グッズは迎賓館で使われている西陣織と、まったく同じ織物で作った長財布布など、京都の著名な企業で製作いただいた工芸品を中心に、全て京都の企業にオリジナル製品として発注を行っている。

そして、迎賓館英語ガイドツアーの実施に当たっても、京都市特区ガイドの派遣を行ったところである。

また、京都迎賓館についての理解を深めるシンポジウムを、引き続き平成28年5月に首都圏で開催した。

5 古典の日の推進

古典の日推進委員会の活動と軌を一にする取組とあっていい、二つの大きな文化面でのプロジェクトが平成28年度にスタートとした。

それは平成28年8月に正式決定した文化庁の京都移転、そして2020年東京オリンピック・パラリンピックでの文化力プロジェクトの始動である。

特に文化庁の京都移転決定に当たっては、これまでの古典の日に関する様々な京都側の取組が少なからず評価されてきたと思料している。

日本の文化は、平安時代の「みやび」と室町時代の「わび・さび」がその源流と言っても過言ではなく、古典の日推進委員会としては、一昨年（2019年）の室町時代となる「琳派 400 年記念祭」に次いで、2020 年を見据えたこの二大プロジェクトに対して、源氏物語をはじめ数々の文化を誕生させた「平安文化力」を統一したコンセプトとして取組むこととし、支援、協働を開始した。

また、平成 28 年 11 月には、古典の日推進委員会の新たな取組として、米、仏、独、中の詩文を各々の国の言葉で、その国の人が朗読するという企画を実施し、大変好評を得たところである。

部 門 別 概 要

I 文化交流発信事業（公益目的事業）

1 古典の日推進事業

（1）「古典の日」普及・定着のための事業

①古典の日フォーラム 2016

1 開催日時 平成28年11月1日（火）13:00～16:30

2 開催場所 ロームシアター京都メインホール

3 参加者 1,540名

4 概要

- ・古典の日宣言 坂戸咲野
（第7回古典の日朗読コンテスト大賞受賞者）
- ・主催者挨拶 古典の日推進委員会
会長 村田純一
- ・古典の日推進よびかけ人挨拶
村井 康彦（国際日本文化研究センター名誉教授）
- ・来賓祝辞 磯谷 桂介（文化庁長官官房審議官）
- ・記念講演「源氏物語と嵯峨」
瀬戸内寂聴（古典の日推進よびかけ人）
- ・記念対談「私と古典～歌舞伎の家に生まれて～」
中村勘九郎（歌舞伎俳優）
聞き手：井上あさひ（NHK京都放送局アナウンサー）
- ・詩篇交響曲「源氏物語」より（ピアノ伴奏版）「朧月夜」「葵上」「幻」



- お話 千住明
上演 内藤里美（ソプラノ）、松本薫平（テノール）、小柳るみ（ピアノ）
- ・基調講演「『源氏物語』そのさまざまな味わい」
林望（作家・国文学者）
- 5 主 催：古典の日推進委員会
6 共 催：NHK京都放送局、京都新聞
ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）
7 特別協賛：京都仏教会
8 助 成：平成28年度文化庁文化芸術振興費補助金
（文化遺産を活かした地域活性化事業）
9 入 場 料：A席 1,500円、B席 1,000円、C席 500円

②第8回古典の日朗読コンテスト作品募集

- (1) 課題作品：一般部門、中学・高校生部門
「源氏物語」、「今昔物語」、「更級日記」、「枕草子」
- (2) 応募総数：405作品
（一般部門202作品、中学・高校生部門203作品）
- (3) 審査委員：特別顧問／芳賀 徹 審査委員長／菊川徳之助
委 員／高橋清之、端田宏三、藤田千代美、星野祐美子、三好 仁
- (4) 第8回古典の日朗読コンテスト公開審査会と表彰式
- 開催日時：平成28年11月26日（土）13：00～16：00
 - 開催場所：宇治市文化センター小ホール
 - 参加者：245名
 - 概 要
 - ・主催者挨拶 古典の日推進委員会
会長 村田純一
 - ・来賓祝辞 山本 正（宇治市長）
 - ・世界の詩文朗読
 - ・最終審査会出場者朗読
 - ・世界の詩文解説 芳賀徹
（古典の日朗読コンテスト特別顧問）
 - ・世界の詩文朗読
 - ①ドイツ語：Johann Wolfgang von Goethe 「Mignon」
 - ②英 語：Edgar Allan Poe 「Annabel Lee」
 - ③フランス語：Charles Baudelaire 「L'invitation au voyage」
 - ④中 国 語：李白「長干行」



- ・宇治十帖朗読劇 宇治っ子朗読劇団☆Genji
- ・審査発表、表彰式、審査講評

③共催、後援、ロゴ・シンボルマークの使用許可申請数(平成29年3月31日現在)

- ◆後援：37件
- ◆ロゴ・シンボルマーク：69件

④「古典の日」普及・推進活動及び広報活動等

1) ホームページ

今年度のアクセス数は、平成29年3月31日現在、70,877件

2) 媒体広告

- (1) 週間とまと&テレビ京都(9月9日)
- (2) 京都新聞(7月2日、7月16日、9月2日、9月6日、9月16日、11月27日)
- (3) 読売新聞(10月14日)
- (4) 京都新聞「一日版」(7月14日)
- (5) 京都新聞、毎日新聞、産経新聞(11月2日)
- (6) JAPONism 2016/秋 vol.11
- (7) ロームシアター京都イベントスケジュール

3) 関係機関広報ツール

- (1) 府民だより
- (2) 京都市民しんぶん
- (3) 宇治市政だより
- (4) 文化庁関西元気文化圏ホームページ(文化カプロジェクトサイト)
- (5) 京都文化祭典2016リーフレット

2 京都迎賓館支援事業

(1) 京都迎賓館でもてなした外国賓客

計 13 件

- | | |
|-----------------------|------------|
| ① ウクライナ大統領夫妻一行 | 平成28年4月5日 |
| ② ハンガリー国会議長夫妻一行 | 5月14日～15日 |
| ③ G7 下院議長及び欧州議会副議長一行 | 9月3日 |
| ④ ミャンマー連邦共和国国家最高顧問一行 | 11月3日～4日 |
| ⑤ ドイツ連邦共和国大統領とパートナー一行 | 11月16日～18日 |

⑥	レソト王国国王王妃一行	11月21日
⑦	シンガポール共和国大統領夫妻一行	12月2日～4日
⑧	フランス オクシタニ州議長一行	12月4日
⑨	アルメニア共和国 国民議会議長夫妻一行	平成29年2月1日～2日
⑩	中国人民对外友好協会会長一行	2月22日
⑪	プラハ市長一行	3月9日
⑫	アメリカ合衆国 前下院議長一行	3月11日～13日
⑬	オマーン国 諮問議会議長一行	3月16日～18日

<これまでの接遇件数>

年 度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
接遇件数	8	11	15	9	10	10	12	5	7	9

(2) もてなし・しつらいプロデュース事業

京都迎賓館における賓客接遇等の際、しつらいの一つとして活用するいけばな文化の継承・発展のためいけばな協会への支援を行った。

また、迎賓館の賓客接遇に際して、京都府京都文化博物館、京都市美術館、京都府立堂本印象美術館等のご協力により、地元美術工芸品の借用を行った。

(3) 京都迎賓館一般公開への支援事業

ア 期 間：試験公開：平成28年4月29日（木）～5月9日（月）
一般公開：平成28年7月21日（木）開始
※ 接遇に支障のない範囲で通年公開

イ 支援事業

- (ア) 京都迎賓館の伝統技能を紹介した参観リーフレット（A4 三折り）を試験公開時及び一般公開時においてそれぞれ制作提供した。
- (イ) 京都迎賓館一般公開にかかる PR チラシ（A4）、ポスター（B1、B2、B3）を制作し、観光案内所や交通機関にて掲示及び配布した。
- (ウ) 「京都迎賓館・御所・御苑を楽しむ地図」（A3）を製作配布した。
- (エ) 迎賓館参観PR及び京都御苑散策案内地図の看板を制作・設置した。（設置場所：京都府立文化芸術会館の河原町広小路沿い壁面）
- (オ) 京都観光・文化情報コーナーを設置し、府、市、商工会議所等の資料を配布した。

2 京都伝統技能・文化発信事業

「京都迎賓館シンポジウム」の開催

- ア 開催日：平成28年5月21日（土）
- イ 会場：東京・イイノホール（東京都千代田区）
- ウ 参加者：500名
- エ 概要

◇文化披露

芸舞妓による舞踊披露（祇園東歌舞会）

◇基調講演

テーマ 「京都迎賓館～和のおもてなしとは～」

講師 安藤 昌弘氏（元 内閣府迎賓館館長）

◇パネルディスカッション

テーマ 「京都にいきるおもてなしの技とところ 世界へ」

コーディネーター 中村 昌生氏（京都工芸繊維大学 名誉教授）

パネリスト 安藤 昌弘氏（元 内閣府迎賓館館長）

佐野 藤右衛門氏（桜守・植藤造園16代目）

下出 祐太郎氏（京蒔絵師、伝統工芸士）



3 京都創生フォーラム事業

（1）運営委員会・連絡会の開催

① 運営委員会

日時：平成28年4月27日（水） 午後2時～3時30分

場所：京都商工会議所 第3会議室

議事：平成27年度の活動について（報告）

平成28年度の活動について（提案）

各運営団体の京都創生に関する取組について（情報交換）

② 連絡会

日時：平成28年7月21日（木） 午後1時30分～2時15分

場所：京都商工会議所 第1会議室

議事：7月27日シンポジウムの運営について

（2）京都創生フォーラム「シンポジウム」の開催

日時：平成28年7月27日（水） 午後1時30分～4時

会 場：ロームシアター京都 サウスホール

参加者：620人

内 容：

• オープニング

素謡「頼政」

公益社団法人能楽協会（京都支部）

河村 晴道氏、片山 伸吾氏、

浦田 保親氏、田茂井 廣道氏、

橋本 忠樹氏、曾和 鼓堂氏

• 総 会

挨拶 立石 義雄（フォーラム代表・京都商工会議所会頭）

門川 大作（京都市長）

• パネルディスカッション

「京都から始まる日本文化の創生ー文化庁の京都移転の先にー」

コーディネーター：宗田 好史氏（京都府立大学副学長）

パネリスト

小林 一彦氏（京都産業大学日本文化研究所所長）

畑 正高氏（株式会社松栄堂代表取締役社長）

濱崎 加奈子氏（公益財団法人有斐斎弘道館代表理事）

森口 邦彦氏（友禅作家／重要無形文化財「友禅」保持者）



（3）京都創生連続セミナー（第25回）開催

日 時：平成28年12月17日（土）

午後2時～4時

会 場：キャンパスプラザ京都 第1講義室

参加者：220人

内 容：

• 「国家戦略としての京都創生」の取組に係る趣旨説明

• 京都迎賓館警衛官和装（裃）の紹介

説 明 堀金 真理氏（内閣府迎賓館京都事務所長）

大野 信幸氏（伝統工芸士（京友禅・京小紋））

• 講演「京都迎賓館～美と技の継承～」

講 師 中村 昌生氏（京都工芸繊維大学名誉教授）



（4）京都創生推進フォーラムホームページによる情報発信

- 各会員の活動情報を閲覧・掲載
- 新規会員の登録
- トピックスはシンポジウム等の情報や、今後の開催案内を掲載
- 広報誌やポスター等の広報物を紹介

※ 平成28年度年間ホームページアクセス件数 37,651件

《月別HPアクセス件数》

月	件数	月	件数
4月	3,046	10月	2,652
5月	3,316	11月	2,966
6月	3,374	12月	3,139
7月	3,519	1月	3,185
8月	2,595	2月	3,678
9月	2,365	3月	3,816
		合計	37,651

(5) 京都創生PRの実施

① 京都創生PRポスター「日本に、京都があってよかった。」

発行時期：第27弾 平成28年11月 8日発行

：第28弾 平成29年 3月21日発行

仕様：B1判・B2判・B3判・B3ワイド判

発行部数：第27弾 5,010部、第28弾 5,000部

配布先：全ての市バス・地下鉄の車両、地下鉄全駅、市内の私鉄駅、市内金融機関、市内郵便局、市関連施設、市内ホテル、市内の大学構内、首都圏の旅行代理店、京都に修学旅行を予定する全国の小中学校・高校、「京あるき in 東京」の参画企業店舗など



第27弾（京都の生活文化）



第28弾（大政奉還 150周年）

② 広報誌「京都創生」第15号・第16号

発行時期：第15号：平成28年12月 6日

第16号：平成29年 3月30日

仕 様：ともに、A4版4頁

発行部数：ともに、8,500部

配 布 先：京都創生推進フォーラム会員・京都府及び京都市関係機関・運営団体等

③ 京都市交通局と協働でポスター図案を用いたカードを発行

第25弾：平成29年1月19日発行

「地下鉄1 day フリーチケット」…10万枚

第26弾：平成29年6月（予定）

「地下鉄1 day フリーチケット」…20万枚（予定）

(6) 「京都創生連続講座 i n 東京」京都創生連続講座の実施

日 時：平成29年2月24日（金）

第1部…午後1時～3時

第2部…午後4時～6時

会 場：大和ハウス東京ビル2階会議室

参加者：第1部、第2部ともに300人

内 容：

- ・ 第1部 京町家トーク「祇園祭と京町家」



京都創生の取組報告

「京町家まちづくりファンド」の取組紹介

説明 吉田 健氏 (公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター事務局次長)

基調講演「町衆が育む京の美意識」

講師 吉田 孝次郎氏

(京都生活工芸館無名舎主、公益財団法人祇園祭山鉾連合会前理事長)

対談「京の暮らし、まつり、年中行事」

話し手 吉田 孝次郎氏 (同上)

聞き手 増井 正哉氏 (京都大学大学院 人間・環境学研究科 教授)

・第2部 「古典の日」から考える～雅の平安文化力～

京都創生の取組報告

「古典の日」について

説明 山本 壯太氏

(古典の日推進委員会ネラルプロデューサー、元NHK京都放送局長)

今様合の実演

出演 今様白拍子研究所

解説 濱崎 加奈子氏 (公益財団法人有斐斎弘道館代表理事)

講演「京都における平安文化とこれからの文化創生」

講師 冷泉 貴実子氏 (公益財団法人冷泉家時雨亭文庫常務理事)

(7) 京都創生 PR 事業「京あるき in 東京 2017～恋する京都ウィークス～」の実施

京都市、京都商工会議所、京都市観光協会とともに、第7回目となる「京あるき in 東京」を実施した。

概要：京都ゆかりの企業・大学・団体の参画のもと、首都圏で京都の魅力を発信する催しを集中的に実施

期間：平成29年2月4日(土)～3月5日(日)

事業数：111 (前回：119)

参画企業、大学、団体数：220 (前回：213)

参加者数：約7万人 (前回：約25万人)

[京都創生推進フォーラムの活動内容]

- ・「京都創生連続講座 in 東京」の実施 (再掲)
- ・「国家戦略としての京都創生」のPRパネル展示
- ・京都創生パンフレットの配布

(8) 京都創生フォーラム会員管理

会員数	企業・団体	個人	合計
期首	427	416	843
減少	1	7	8
増加	2	46	48
期末	428	455	883

入会は、ホームページやシンポジウム等の参加を通じて実施
退会は、本人逝去や事務所閉鎖等によるもの

Ⅱ 国際観光コンベンション事業（公益目的事業）

1 コンベンション(MICE)事業

平成 28 年の京都での国際会議開催実績は、対前年比大幅に増加し、280件となり、3年連続で過去最高となった。

また、28 年度には、第 30 回社会経済学発展会議（2018 年，1,000 人参加見込み），第 5 回世界パーキンソン病学会（2019 年，4,000 人参加見込み），第 22 回アジア太平洋リウマチ学会議（2020 年，1,500 人参加見込み），第 29 回国際高血圧学会（2022 年，4,000 人参加見込み），第 13 回世界核医学会総会（2022 年，3,000 人参加見込み），第 15 回国際口蓋裂・頭蓋顔面異常学会（2025 年，1,500 人参加見込み）等の大型国際会議の京都開催が決定した。

(1) プロモーション事業

① 海外プロモーション活動

(ア) [IMEX in Frankfurt 2016 出展]

JNTO 他 23 団体と共同で IMEX in Frankfurt 2016 に出展。

（平成 28 年 4 月 19 日～21 日 ドイツ・フランクフルト）

(イ) [IBTM World 2016 出展]

JNTO 他 22 団体と共同で IBTM World 2016 に出展。

（平成 28 年 11 月 29 日～12 月 1 日 スペイン・バルセロナ）

② 国内プロモーション活動

[IME（国際ミーティング・エキスポ）2016 出展]

（平成 28 年 12 月 6 日～7 日 パシフィコ横浜）

※国立京都国際会館、京都市勧業館「みやこめっせ」、
京都テルサ、京都リサーチパーク、元離宮二条城、
京都ホテルオークラ、ハイアットリージェンシー京都、
東映太秦映画村等 13 社でチーム京都を構成し出展



(2) 開催支援事業

① 政府関連特定会議等の京都開催の運営協力

[第 13 回科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム(STS フォーラム)]

公開シンポジウム

平成 28 年 10 月 1 日 京都商工会議所講堂

歓迎レセプション

平成 28 年 10 月 3 日 京都国立博物館

京都エクスカージョン 平成 28 年 10 月 3～4 日 2 コース計 58 名参加

※今回のエクスカージョンにおいても、前回に引き続き「京都伝統産業ふれあい館」と連携し、国際会議参加者及び同伴者向けのメニューとして、STS フォーラム参加者に伝統工芸体験（念珠、提灯、箔押）の機会を提供。また、平成 28 年 8 月に制度化された「京都市ビジターズホスト」との連携により、STS フォーラム参加者に「京都品質」の通訳サービスを提供した。

② 京都スマートシティエキスポ 2016、2017 への運営協力

京都国際会館及びけいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）において、平成 28 年 6 月に開催された京都スマートシティエキスポ 2016、及び平成 29 年 9 月開催予定の京都スマートシティエキスポ 2017 年について、準備委員会や運営協議会、事業者選定会議など積極的に京都府担当課と連携するとともに、助成金支出等の開催後方支援を行った。

③ 全国商工会議所振興大会 2016 への運営協力

ロームシアター及びみやこめっせにおいて、平成 28 年 7 月に開催された全国商工会議所振興大会 2016 に当たり、京都商工会議所と連携し、全国の約 1300 名の参加者に対して、公式プログラムを通じて本ビューローの MICE 支援サポートメニューを紹介したほか、助成金支出等の開催後方支援を行った。

④ JCCB コンベンション・ビューロー部会の開催

メルパルク京都等において、平成 29 年 2 月に開催された JCCB コンベンション

・ビューロー部会に当たり、主催者である(一社)日本コンGRES・コンベンション・ビューロー (JCCB) と連携し、全国各地のコンベンションビューローが集結し、今後の我が国の MICE 振興に向けた情報・意見交換を行う機会を提供した。

⑤ MI 案件の開催支援

京都の都市格に相応しい国内外大手企業が主催するミーティング (M)、インセンティブ (I) の京都開催を支援した。特に、イタリアの高級自動車メーカーであるフェラーリのオーナー向けラグジュアリーインセンティブイベントである「Ferrari Cavalcade International 2016」の誘致に成功し、平成 28 年 11 月の京都開催を実現した。また、平成 28 年 12 月には、世界最大のミーティングプランナー組織である MPI (Meeting Professional International) 理事メンバーによるタスクフォースミーティング等の京都開催を支援し、MICE デスティネーションとしての京都を PR した。



⑥ オフサイト・レセプション等の企画・提案

開催地ならではのユニークな施設・会場(オフサイト・レセプション)の企画・提案を積極的に行った。またインバウンド課の事業と連携し、共同でユニーク・ベニユ開発に取り組むことによって新たな施設との連携が強化された。

(3) 各種会議支援サービス制度の運用状況等

① 助成金

(ア) 京都市大規模国際コンベンション開催支援助成金の活用

[申請案件(平成 28 年度申請(認定)分)]

会議名	参加者	開催予定年度	認定額 (万円)
第 30 回社会経済学発展会議	1,000 人	平成 30 年度	250
第 46 回国際腰椎学会議	520 人	平成 31 年度	250
第 5 回世界パーキンソン病学会	4,000 人	平成 31 年度	500
シリコンカーバイド及び関連材料に関する国際会議	800 人	平成 31 年度	300
第 17 回日本臨床腫瘍学会学術集会	6,000 人	平成 31 年度	250
2020 年炭素材料国際会議	800 人	平成 32 年度	300
第 22 回アジア太平洋リウマチ学会議	1,500 人	平成 32 年度	300
世界アレルギー機構会議 2020 他合同会議	4,000 人	平成 32 年度	300

第 29 回国際高血圧学会	4,000 人	平成 34 年度	300
第 13 回世界核医学会総会	3,000 人	平成 34 年度	400
第 15 回国際口蓋裂・頭蓋顔面異常学会	1,500 人	平成 37 年度	300

(イ) 京都市大規模国際コンベンション誘致支援助成金の活用

[申請案件(平成 28 年度申請・交付分)]

会議名	参加者	開催予定年度	交付額 (万円)
第 46 回国際腰椎学会議	520 人	平成 31 年	15
第 29 回国際高血圧学会	4,000 人	平成 34 年	10
第 15 回国際口蓋裂学会・頭蓋顔面異常学会	1,500 人	平成 37 年	10

(ロ) 京都市中・小規模 MICE 開催支援助成金の活用

利用件数：42 件 支援金額：5,800,000 円

(イ) 京都市「京都らしい MICE 開催支援補助制度」の活用

利用件数：88 件（うち伝統産業製品 21 件（文化プログラムとの併用 9 件を含む））
支援金額：19,003,277 円（うち伝統産業製品購入 3,867,834 円）

(ロ) 京都府「京都府 MICE 開催支援助成制度」の活用（平成 28 年度新規）

利用件数：15 件（うちコンベンション支援 7 件、エクスカージョン支援 8 件）
支援金額：1,937,400 円

② その他の支援サービス

(ア) 京都コンベンション・パス(地下鉄・市バス特別乗車券)の発行

利用件数：4 件 発行金額：4,905,800 円

(イ) 京都コンベンション・イメージバンクの活用

利用件数：73 件

(ロ) 公開シンポジウム等広報支援制度

利用件数：7 件

(ハ) 京都コンベンション・ウェブ・データ貸出制度

利用件数：1 件

(ニ) 誘致プレゼンテーション用パワーポイント・データ貸出制度

利用件数：6 件

(ホ) 京都開催 PR 用バナー貸出制度

利用件数：4 件

(ヘ) プロモーション DVD の貸出・提供

利用件数：8 件

(ロ) 京都市 MICE デスティネーション PR 映像の貸出・提供

利用件数 : 29件

(ク) 会議開催準備資金の無利息融資

融資件数 : 1件

(コ) 各種広報印刷物等の提供

利用件数 : 157件

京都観光案内地図(日英併記) ほか

(4) 広報宣伝事業

① メールマガジン（MICE 課ニュースレター）の発行

国内外商談会、視察、問合せ等で接触する国内外のミーティングプランナー、MICE 主催者に対し、定期的に京都の MICE 関連情報を発信することにより、京都での MICE 開催を意識させ、京都への MICE 誘致促進につなげるため、平成 28 年 7 月より新たにメールマガジンの配信を開始した。

② ホームページによる京都における MICE 関連情報の発信

国内外の MICE 主催者・参加者に対し、MICE 開催都市「京都」の情報発信を行うため、世界中の国際会議や国際学会の主催者や事業者、加えて京都市内の大学関係者の皆様の利便性向上を図った。

(5) MICE 関連情報の調査・収集・検討

① 情報の収集

観光庁、日本政府観光局(JNTO)、日本コンgres・コンベンション・ビューロー(JCCB)、ICCA (International Congress and Convention Association 国際会議協会)をはじめ関係団体との積極的な交流を図り、MICE 関連情報の収集に努めた。また各種の海外見本市への参加等を通じて国際的な MICE プレーヤーとのネットワーク強化と情報収集を図った。

② 環境に配慮した MICE 都市の世界的取組への参画

環境にやさしい国際会議の開催を目指して、コンベンションや見本市に関する国際的機関が立ち上げた組織である GDS (Global Destination Sustainability Index) に、平成 28 年 7 月にアジアで初めて参画し、「環境に配慮した持続可能な MICE 都市」としての位置付けの強化に努めている。

③ 京都大学との協力による国際会議推進

「京都市と京都大学との国際学術都市としての魅力向上に関する連携協定書」(平成 27 年 8 月締結)に基づき、京都大学と国際会議の推進に関する協議等を継続して

実施している。また、各学部の教授会や、研究支援組織の会合等、様々な機会を捉えて、支援施策のPRを行うとともに情報収集に努めている。

④ 京都府警との連携

府警本部警備部と当ビューローの間で平成27年3月に締結した「京都をテロから守る連携協定」に基づき、安心して参加できる国際会議都市・京都のステータスを維持するため情報交換を継続して実施している。

⑤ 統計調査・発行

国際会議統計「2015京都で開催された国際会議」発行

2 国際観光プロモーション事業

(1) 重点市場に於けるインバウンドマーケティング事業

海外情報拠点管理運営事業

ニューヨーク、台北、ソウル、上海、シドニー、パリ、ロンドン、フランクフルト、香港、ドバイに拠点レップ窓口を設置し、京都の旬の情報を毎月発信するとともに、現地マーケティング活動を年間通じて実施。また、各拠点担当者が一堂に会しての市場説明会を平成28年5月に開催した。

(2) 特定市場/ターゲットに対するインバウンドマーケティング事業

① 海外富裕層市場への取組事業

平成28年度から、京都市が中心となり、富裕層の観光客誘致に戦略的な取組みを目指す自治体による連携関係を構築するものとして、「日本ラグジュアリー・トラベルアライアンス」を設立した。本年度は、富裕層を顧客に持つ欧米豪の旅行会社を招聘し、アライアンスに参画する各地域の視察を行うとともに、富裕層を対象としたイベントとして、最も影響力のあるインターナショナル・ラグジュアリー・トラベル・マーケット (ILTM) に参画し、当アライアンスの設立を紹介するなど、京都を中心としてプロモーションを実施した。

(視察) ※地域ごとに2回実施

- ・コース1 (石川県ー高山市ー京都市ー京都府) 平成28年9月26日～10月1日
- ・コース2 (札幌市ー和歌山県ー奈良市ー京都市) 平成28年10月3日～8日 (ILTM)
 - ・ILTM Canne (フランス：カンヌ) 平成28年12月5日～8日
 - ・ILTM Japan (日本：東京・京都) 平成29年2月27日～3月1日

② 新規市場への取組

今後の訪日旅行者の増加が見込まれるムスリム市場向けに、受入環境の整備や情報発信等事業を展開した。

- ・ムスリム観光客向けウェブサイトの運営
- ・市内事業者と連携したハラール対応レストランや礼拝スペースの整備推進
- ・京都の伝統技術を使用した礼拝マット開発の広報支援
- ・ドバイ・アラビアントラベルマーケットへの出展・参画（北海道運輸局連携の上、共同出展を行う。）



③ 京都市域内統計収集・分析強化

当ビューローが主体となり、京都市域のステークホルダーの協力を得て、営業状況や稼働状況等に関する定期的な統計調査を行った。（国籍別の宿泊状況を毎月調査 30 ホテル⇒33 ホテル）

また、世界最大のホテルデータサービス提供会社である STR グローバルと、日本の観光関連機関との連携のもと、市内ホテルの客室平均単価（ADR）等の情報を国内外主要都市と比較するなどの情報分析を行った。

④ マーケティング強化（ホテル誘致関連）

宿泊キャパシティ拡大の課題に取り組む糸口として、世界のホテル投資家が一堂に会する国際会議（アジア太平洋ホテル投資セミナー／HICAP@香港や JLL 不動産&ホテル投資フォーラム@東京）等に参加。また、国内外のホテルオペレーターやディベロッパーとも継続的にヒアリングや意見交換を実施した。

（3） プロモーション・情報発信事業

① ウェブサイトの運用事業（京都市補助事業）

日本国内の自治体で最多となる 13 言語で外国人観光客向けのウェブサイト「Kyoto Official Travel Guide」で観光情報を発信した。

使用言語：英語，フランス語，中国語・繁体字，中国語・簡体字，韓国・朝鮮語，ドイツ語，スペイン語，イタリア語，アラビア語，トルコ語，タイ語，マレー語，ロシア語

② ソーシャルネットワークの運用事業（京都市補助事業）

・Facebook ページの運用

ソーシャルネットワークの最大手である Facebook に於いて「Visit Kyoto」ページを継続展開した。いいね数：36 万件⇒48 万件

・Instagram の運用（平成28年7月～）

写真や動画の共有に特化したソーシャルネットワーキングサービスである Instagram の公式アカウントを開設した。

③ 海外メディア取材誘致・露出強化事業

海外における有カメディア（新聞，雑誌，テレビ，ウェブサイト等）の招請，取材誘致・受入を実施。担当スタッフの増強を行うとともに，日本政府観光局（JNTO）や近畿運輸局，他都市や航空会社等と積極的な連携を図り，マーケット及び費用対効果を意識した PR 活動を展開し，米国大手カード会社の最上級会員向け雑誌で大々的に京都特集が組まれる等，大きな成果があった。

④ 世界における有力旅行誌での評価

・「トラベル・アンド・レジャー」誌で5年連続ベスト10に選出

世界で最も影響力のある旅行雑誌のひとつ「トラベル・アンド・レジャー」誌の読者投票「ワールドベストシティワード」において京都は平成26年、27年と2年連続で世界1位に選出されるとともに、5年連続でベスト10にランクインしている。

・「コンデ・ナスト・トラベラー」誌で世界第2位の人気都市に選出

アメリカで最も権威のある旅行雑誌の一つ「コンデ・ナスト・トラベラー」誌の読者投票ランキング「Reader's Choice Awards」の世界で最も魅力的な都市を決める「Best Cities in the World」において、初めて世界第2位に選ばれた。

・「ワンダーラスト」誌で第1位に選出

イギリスの有力旅行雑誌「ワンダーラスト」の読者投票において、ベストシティ部門で京都が第1位に選出された。

⑤ 海外における旅行博・商談会・セールスコール事業

賛助会員の参画も得て、以下の旅行博等に出展・参画した。

平成 28 年 4 月	UAE ドバイ	ATM
平成 28 年 7 月	フランス・パリ	JAPAN EXPO
平成 28 年 9 月	東京	VISIT JAPAN トラベルマート
平成 29 年 3 月	ドイツ・ベルリン	ITB

(4) 外国人旅行客受入体制構築支援事業

① 外国人観光客向け多言語コールセンター運営事業

外国人観光客の満足度向上とセーフティネットの構築等を目的に、24 時間年中無休の多言語コールセンターを運営し、宿泊施設を対象に 5 言語による電話通訳サービスを提供した（京都府，京都市，滋賀県，大津市，奈良市との共同事業）。

② 外国語研修実施事業（京都市補助事業）

飲食店や旅館業，小売店・伝統産業の従事者を対象に，初心者向け外国語研修を実施した（英語 13 回・中国語 13 回）。

③ コンテンツ研究会開催事業

京都における旅行商品化の可能性を有するクオリティの高いコンテンツ（伝統産品や工芸品事業者など）の受容性を検証するために，当該事業者と観光事業者のネットワーキングの場を設け，意見交換会等を図った。

訪問先：山はな平八茶屋・北山モノリス、フォーシーズンズホテル京都、
金戒光明寺・加藤造園



④ 免税対応支援事業

多言語コールセンターによる電話通訳サービスの提供やセミナーの開催，メルマガの配信など，多岐にわたる免税店支援事業を継続展開するとともに，免税店情報を掲載した冊子「KYOTO Tax Free Shopping Book」

(英語・中国語)の改訂を行った。

＜京都市内の免税店数＞

平成26年4月現在 178件

平成28年10月現在 1,318件(約7倍増)



⑤ クレジットカードの買い物環境整備支援事業

大手クレジットカード会社「ビザ・ワールドワイドジャパン」と連携し、「宿泊」「買い物」「食事」について、平成29年1月～2月の間、観光消費キャンペーンを展開した。

○「宿泊／旅館」

トリップアドバイザー株式会社及び京都府旅館ホテル生活衛生同業組合のもと、外国人観光客に旅館の魅力を紹介するリーフレットを作成



○「買い物／嵐山」

嵯峨嵐山地域の商店街等において、外国人観光客を対象とするショッピングキャンペーンを実施



○「食事／レストラン」

8回目を迎える「京都レストランウィンタースペシャル」において、もう1回食事が楽しめる割引券が当たるキャンペーンを実施



⑥ 京都市認定通訳ガイド育成事業（京都市委託事業）

京都観光の専門知識を身に付け、外国語で京都の奥深い魅力を伝えることができる京都市独自の通訳ガイド「京都市ビジターズホスト」の育成事業を実施した。第1期生には555名の応募があり、書類・面接審査ののち、半年間の研修を経て、平成28年8月、56名が認定を受けた。翌9月には、事業者や観光客向けの検索・マッチングサイト「クレマチス」を開設した。



3 広域プロモーション事業

(1) 宇治茶プレミアムブランド化事業（京都府委託事業・経済産業省補助事業）

京都府が進める「お茶の京都」事業の一環として、宇治茶産業の振興を目的とした、宇治茶のプレミアムブランド化（高付加価値化）に取り組んだ。

① 海外プロモーションの実施

平成28年11月に、宇治茶の歴史・文化、淹れ方、手間暇かけた生産等「ほんもの」の宇治茶の価値を、世界の文化界等に対し大きな影響力を持つパリで理解を得るとともに、パリの各界を代表する方々による、宇治茶の愛好・応援のネットワーク組織『Association du thé Uji』（宇治茶愛好会）を立ち上げた。記念の祝宴では、宇治茶の魅力を紹介し、玉露で乾杯。三ツ星シェフ、クリスチャン・スケール氏による宇治茶を使った新メニューが披露された。あわせて、ABM食会サロン「宇治茶」を開催し、パリのシェフやレストランオーナー等食の関係者に対し、宇治茶の歴史的背景や生産における工夫、ブレンド技術等の解説や茶葉の実物展示、抹茶、煎茶、玉露の淹れ方実演・試飲、宇治茶を用いたメニューの試食を行い、宇治茶ブランドの浸透の足掛かりを作った。また、とらや和サロン「宇治茶」として、日本文化に関心の高いフランス人に対し、玉露の淹れ方解説と体験を行い、さらなる宇治茶への関心及び理解を深めることができた。



② 経済産業省「Travel Mine Japan」事業への参画

海外プロモーションの効果を最大化し、インバウンド重要拡大を図るため、経済産業省「Travel Mine Japan」事業に参画し、「Thai International Travel Fair」へのブース出展や欧米の富裕層向け旅行バイヤーによるファミトリップを実施した。



③ ブランドブック等の制作

宇治茶のシンボルとなるロゴマークや宇治茶の歴史・文化、ブランドが一目で感じ取ることができるブランディングブックを制作し、外国人の多い宿泊施設等に設置・配布した。



Ⅲ その他の事業（公益目的事業）

1 ホームページの運用

ホームページに「What's NEW」のコーナーを設け、当ビューローからの最新情報や関連行事等のタイムリーな情報の提供に努めた。

2 会報誌「京都文化交流コンベンションビューロー通信」発行

- ア 仕様：A4版、4頁（オールカラー）
- イ 作成部数：1,000部
- ウ 発行回数：年4回（4月、7月、10月、1月）
- エ 配付先：賛助会員・関係団体 ほか

3 関係団体との連携等

（1）「京都花灯路」・「京の七夕」への参画

関係団体と連携し、「京都花灯路」や「京の七夕」へ主催者団体や実行委員会の一員として参画し、地元京都の観光振興に取り組んだ。

①嵐山花灯路

平成28年12月9日（金）～18日（日）

来場者数：119万3千人（今回12回目の開催）

②東山花灯路

平成29年3月3日（金）～12日（日）

来場者数：111万人（今回15回目の開催）

③京の七夕

平成28年8月1日(月)～21日(日)（今回7回目の開催）

来場者数：85万人

(2) 時代祭におけるメッセージ発信

「平安建都1300年に向けて」というメッセージを書いた横断幕を持つ行列の先頭役を担った。行進者は賛助会員から募集し、その協力を得た。

IV 共益・収益事業

1 賛助会員制度の運営

(1) 新規勧誘の促進

当ビューローの設立趣旨及び事業等に対する理解者・支援者の拡大を図るため、新たな賛助会員の加入促進に努めた。

ア. 新規加入会員（39社43名）

会 員 名
エクスペディア ホールディングス株式会社
翠嵐ラグジュアリーコレクションホテル京都
グローバルブルーティエフエスジャパン株式会社
有限会社前田珈琲
株式会社リーフ・パブリケーションズ
ヴィラ三条室町・京都（株式会社リーフ・パブリケーションズ）
東京海上日動火災保険株式会社
ホテルグレイスリー京都三条
株式会社 J&J 事業創造
MIHO MUSEUM
一般社団法人京都ハラルネットワーク協会
京町家 楽遊 堀川五条

株式会社ドン・キホーテ
バイドゥ株式会社
株式会社今井プリント
車折神社
株式会社イメージワークス
(株)ユキ・コーポレーション アーバインホテルズ
株式会社 ジェイアール西日本 伊勢丹
中央観光株式会社 良弥（京都 嵐山 良彌）
株式会社ノバレーゼ 北山モノリス
株式会社トラベリエンス
株式会社 T-STYLE
株式会社ブランシェ” 着物レンタル 華こまち”
株式会社安田念珠店
株式会社エム・ワイ・ケイ・エンタープライズ
株式会社クラウディアコスチュームサービス アイネス ヴィラノッツ エ宝ヶ池
一般社団法人 EO Osaka
株式会社西鉄ホテルズ
コイニー株式会社
ピーシーエム株式会社
株式会社北井
Marco Kyoto Design Studio
宗教法人 正伝永源院
山本興業株式会社
BOJ 株式会社
公益財団法人日本財団
K プロデュース株式会社
株式会社デイリー・インフォメーション関西

イ. 退会会員（10社100）

会 員 名
株式会社日本の窓
株式会社クレオテック
株式会社西村兄弟印刷

合同会社スガイラボ
株式会社 Mume
双林株式会社
洛頂旅館
京都コネクト
アイ・エス・シー・いなり
株式会社セブン銀行

＜賛助会員数の推移＞

年度別	会員数	口数
平成20年度末	264	384
平成21年度末	257	374
平成22年度末	255	367
平成23年度末	244	356
平成24年度末	289	507
平成25年度末	297	517
平成26年度末	337	562
平成27年度末	370	601
平成28年度末	398	629

（2）会員に対する情報提供やサービス事業の実施

文化交流発信及びMICE・インバウンド推進に関連する、有効な情報の提供・斡旋・紹介等、また、共同プロモーション事業の実施、各種コンサルティング等会員企業へのサービス事業を実施した。

（3）「会員の集い」の開催

京都のMICE・インバウンド関連業界の連携を図り、産学公オール京都の力を結集して、MICE及びインバウンドの誘致・誘客・振興の取組がより円滑に実施できるよう、情報交換と会員相互のネットワーク強化を図るため「会員の集い」を開催した。

ア 日 時：平成29年1月24日(火)午後6時～午後8時

- イ 場 所：リーガロイヤルホテル京都春 2階「春秋の間」
ウ 参加者：賛助会員 520名（過去最高）
※ 「第9回 ビューローインバウンドセミナー
～アメリカの観光市場と越境ECの現状について～」の開催
日 時：平成29年1月24日（火）午後4時～5時45分
場 所：リーガロイヤルホテル京都春 1階「ラ・シゴニーユ」

2 「京都文化振興友の会」の運営

京都文化振興友の会会員に対して、京都府・京都市・京都商工会議所及び関係団体が主催する催事等に係る情報を提供した。

会員数：124名（平成29年3月末）

3 京都迎賓館記念品の販売

京都迎賓館参観実施等に併せ、参観記念品を販売した。

参観実施時

ア 時 期：平成28年7月21日～3月30日

※ 接遇に支障のない範囲で公開（開館日数：125日）

イ 記 念 品：販売客数：20,204名 売上点数：39,594点

- | | |
|---------|--------------------|
| ①メモ帳 | ②一筆箋（縦書・横書） |
| ③あぶらとり紙 | ④クリアファイル（藤の間、夕映の間） |
| ⑤写真はがき | ⑥京都迎賓館伝統技能DVD |
| ⑦懐紙 | ⑧ポーチ |
| ⑨ブックカバー | ⑩コースター |
| ⑪長財布 | ⑫京うちわ |
| ⑬風呂敷 | ⑭和ろうそく |
| ⑮塗り箸 | |

ウ 販 売 高：35,696,370円

エ 委託販売：「京都迎賓館の冊子」 2,443冊

V 管 理 運 営

1 理事会の開催

(1) 第11回理事会

ア 日 時 平成28年6月2日(木) 午前10時～11時
イ 会 場 京都商工会議所 役員室
ウ 出席者 理事10名、監事2名
エ 議 事 第1号議案 副理事長の選任に関する件
第2号議案 平成28年度事業報告に関する件
第3号議案 平成28年度決算に関する件
第4号議案 平成29年度収支予算の補正に関する件
第5号議案 賛助会員規程の一部改正に関する件
第5号議案 評議員会の開催に関する件

(2) 第12回理事会

ア 日 時 平成29年3月3日(金) 午前10時～11時
イ 会 場 京都ブライトンホテル 英の間
ウ 出席者 理事11名 監事2名
エ 議 事 第1号議案 平成29年度事業計画に関する件
第2号議案 平成29年度収支予算に関する件
第3号議案 平成28年度収支予算の補正に関する件
第4号議案 評議員会の開催に関する件



第12回理事会

2 評議員会の開催

(1) 第10回評議員会

ア 日 時 平成28年6月20日(月) 午後3時30分～4時30分
イ 会 場 京都商工会議所 役員室
ウ 出席者 評議員7名 専務理事1名 監事1名
エ 議 事 第1号議案 平成27年事業報告に関する件
第2号議案 平成27年度決算に関する件
第3号議案 平成28年度収支予算の補正に関する件

(2) 第11回評議員会

- ア 日時 平成29年3月30日(木) 午後2時30分～3時30分
イ 会場 京都商工会議所 役員室
ウ 出席者 評議員8名 専務理事1名 監事2名
エ 議事 第1号議案 平成29年度事業計画に関する件
第3号議案 平成29年度収支予算に関する件
第4号議案 平成28年度収支予算の補正に関する件



第12回評議員会

3 書面審議（理事会等を開催しないで審議したもの）

(1) 理事会

- ① 議案「評議員及び理事の選任に係る評議員会の開催に関する件」を審議するに際し、書面審査により理事・監事全員の同意を得て、議案を承認いただいた。
(平成28年5月10日)
- ② 議案「評議員及び監事の選任に係る評議員会の開催に関する件」を審議するに際し、書面審査により理事・監事全員の同意を得て、議案を承認いただいた。
(平成28年9月2日)
- ③ 議案「理事及び監事の選任に係る評議員会の開催に関する件」を審議するに際し、書面審査により理事・監事全員の同意を得て、議案を承認いただいた。
(平成29年2月10日)

(2) 評議員会

- ① 議案「評議員及び理事の選任に関する件」を審議するに際し、書面審査により評議員全員の同意を得て、議案を承認いただいた。
(平成28年5月20日)
- ② 議案「評議員及び監事の選任に関する件」を審議するに際し、書面審査により評議員全員の同意を得て、議案を承認いただいた。
(平成28年9月14日)
- ③ 議案「理事及び監事の選任に関する件」を審議するに際し、書面審査により評

議員全員の同意を得て、議案を承認いただいた。
(平成29年2月22日)

平成28年度事業報告には、定款第8条第1項2号に規定する附属明細書は「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しない。

平成29年6月 公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー